



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月12日

上場会社名 株式会社トリプルアイズ 上場取引所 東
 コード番号 5026 URL <https://www.3-ize.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 雄一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 加藤 慶 (TEL) 03-3526-2201
 四半期報告書提出予定日 2023年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	537	-	△10	-	△9	-	△10	-
2022年8月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 △10百万円(-%) 2022年8月期第1四半期 -百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	△1.47	-
2022年8月期第1四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2022年8月期第1四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	1,733	1,146	66.2
2022年8月期	1,788	1,157	64.7

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 1,146百万円 2022年8月期 1,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年8月期	-	-	-	-	-
2023年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,601	7.3	26	△79.7	28	△75.7	22	△79.7	3.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社、除外 -社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年8月期1Q	6,949,000株	2022年8月期	6,949,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	-株	2022年8月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年8月期1Q	6,949,000株	2022年8月期1Q	-株

(注) 2022年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済の状況は、「ウィズコロナ」といわれる情勢に移行するなか、経済社会活動の正常化を進めつつあったところで、2月に始まったロシアのウクライナ侵攻が原材料価格の高騰に拍車をかけ、世界的な物価上昇と円安の進行という新たな試練を迎えています。同時に、本格化する人口減少・少子高齢化、潜在成長率の停滞、気候変動問題等への対応は引き続き大きな課題として残されています。

当社グループの属する業界においては、諸外国に比べてデジタルトランスフォーメーション(DX)が遅れがちと言われてきましたが、「ウィズコロナ」によるDXへの大規模な投資が再開される局面にあります。現在のみならず近い将来の労働力不足が危惧される業界では活発な動きが見られるようになってきました。DXは現状課題へのソリューションとなるだけでなく、より積極的な業務改善、事業改革の礎とする企業も増加しており、既存システムの刷新やデータ分析のAI化に対する期待は高く、DXが加速する流れは今後も続いていくと見られています。

そのような状況下、当社グループは、「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念の下、人にやさしいICTサービスの提供を目指し、当社グループ独自のテクノロジーで新たな時代への橋渡しとなるイノベーションを追求しております。経営基盤の安定を担うSI部門と成長を加速させるAIZE部門のシナジー効果を最大限に発揮させ、技術力と社会実装力を併せ持つ独自の企業としての優位性を確立してまいります。

当第1四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症対策として提供してきた自動検温装置と画像認識技術を結合したサービスの需要は一段落しておりますが、白ナンバー事業者へのアルコール検知の義務化を見越して、AIZEシステムにアルコールチェッカーとの連携機能を搭載したサービスを開始し、新たな顧客獲得に貢献しております。マーケティング活動の活発化、販売パートナー網の拡充といった営業戦略によって、AIZEプロダクトの拠点ID数は増加しております。AIZEプロダクト以外にも、当社AI技術へのニーズは高く、画像分析や需要予測といったAI開発案件の増加へとつながっております。

一方、エンジニア不足が継続する状況の中、先駆けてエンジニア人材強化のための先行投資を進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は537,446千円、営業損失は10,426千円、経常損失は9,306千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は10,195千円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(AIソリューション事業)

当セグメントにおきましては、AI、IoT、DXに係る開発、WEBシステム開発やAIZE関連請負開発に関する売上は堅調に推移する一方、エンジニア人材強化のための先行投資を実施した結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は530,518千円となり、セグメント損失は13,157千円となりました。

また、当セグメントのうち、SI部門における経営上の指標であるエンジニア単価については614千円(前連結会計年度比1.1%減)、エンジニア人数については663人月(前連結会計年度比23.3%の進捗)、AIZE部門における経営上の指標である拠点ID数は1,874件(前連結会計年度末比14.3%増)となりました。

(研修事業)

当セグメントにおきましては、研修実施等による売上を計上しており、当第1四半期連結累計期間において、売上高は4,513千円となり、セグメント利益は2,578千円となりました。また、経営上の指標である研修の請負金額は、4,513千円(前連結会計年度比13.9%の進捗)となりました。

なお、2022年8月期第1四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、1,733,083千円と前連結会計年度末と比較して55,006千円減少しております。

流動資産は1,360,101千円（前期末比124,602千円減）となり、主な要因としては現金及び預金が126,477千円減少したことによるものであります。

固定資産は372,982千円（前期末比69,596千円増）となり、主な要因としてはAIZE技術開発を目的としたソフトウェア仮勘定が66,351千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、586,096千円と前連結会計年度末と比較して44,810千円減少しております。

流動負債は438,957千円（前期末比42,735千円減）となり、主な要因としては買掛金が70,834千円減少した一方、短期借入金が21,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は147,139千円（前期末比2,075千円減）となり、主な要因としては長期借入金が2,075千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、1,146,987千円と前連結会計年度末と比較して10,195千円減少しております。

主な要因としては親会社株主に帰属する四半期純損失10,195千円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想(2022年10月13日発表)からの変更はありません。なお、今後の見通しにつきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。連結業績予想につきましては、業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,079,929	953,452
受取手形	-	2,085
売掛金	274,945	263,999
契約資産	71,517	60,070
商品及び製品	11,384	24,541
原材料及び貯蔵品	233	197
その他	50,425	59,264
貸倒引当金	△3,731	△3,510
流動資産合計	1,484,703	1,360,101
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,271	9,148
車両運搬具（純額）	102	76
その他（純額）	9,526	12,150
有形固定資産合計	12,900	21,376
無形固定資産		
のれん	5,399	4,689
ソフトウェア	40,430	35,429
ソフトウェア仮勘定	195,664	262,015
その他	2,086	2,011
無形固定資産合計	243,580	304,145
投資その他の資産		
繰延税金資産	17,726	17,917
その他	29,179	29,543
投資その他の資産合計	46,905	47,460
固定資産合計	303,386	372,982
資産合計	1,788,090	1,733,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,249	76,415
短期借入金	79,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	60,264	72,012
未払金	101,136	101,097
未払法人税等	18,405	5,168
契約負債	14,121	14,689
賞与引当金	6,100	8,853
受注損失引当金	11	23
その他	55,404	60,696
流動負債合計	481,693	438,957
固定負債		
長期借入金	149,214	147,139
固定負債合計	149,214	147,139
負債合計	630,907	586,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,935	719,935
資本剰余金	669,935	669,935
利益剰余金	△232,687	△242,882
株主資本合計	1,157,182	1,146,987
純資産合計	1,157,182	1,146,987
負債純資産合計	1,788,090	1,733,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	537,446
売上原価	393,150
売上総利益	144,296
販売費及び一般管理費	154,722
営業損失(△)	△10,426
営業外収益	
受取利息	4
助成金収入	1,250
その他	368
営業外収益合計	1,623
営業外費用	
支払利息	503
営業外費用合計	503
経常損失(△)	△9,306
特別損失	
固定資産除却損	274
特別損失合計	274
税金等調整前四半期純損失(△)	△9,581
法人税、住民税及び事業税	804
法人税等調整額	△190
法人税等合計	613
四半期純損失(△)	△10,195
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,195

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純損失(△)	△10,195
四半期包括利益	△10,195
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,195
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。